

【23_236市況メルマガ】ジャクソンホール会合で注目するのは『誰』の発言か

〇〇さん

こんにちは、クロです。

昨日から始まっている米・ジャクソンホール会合ですが、FRB/パウエル議長の発言に注目する向きが強いようです。

▼参考：日経記事（主に今後のスケジュールなど）▼

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN2465L0U3A820C2000000/>

確かに昨年の会合でのパウエル氏の答弁を受けて、株安を誘発した経緯もあるので同氏の発言に注目が集まるのも理解はできるのですが

それよりも僕が個人的に注目（昨年以上のサプライズを誘発する可能性として考えた場合）するのは、日銀/植田氏の発言内容です。

大勢の見解としては、当たり障りのない発言で終わるだろうという見方がされています。

が、サプライズというのは「誰もが想定していなかったこと」によって起こるもの。

ですので、多くの人が思いもよらぬことが起こる場合をイメージしておくことも大事になります。

「じゃあ、どんな話が出てくればそのサプライズが起るんだよ？」という話ですが

ズバリテーマとなるのは『金利』でしょう。

これは、サロンの方では随分前から細かい経緯を含めて解説した内容ですが、7月末頃に配信した市況メルマガで

日銀が少々驚きの政策金利発表をした事を紹介したのですが覚えているでしょうか？

ここから『日米金利差の縮小』が中長期的テーマになっていく事を共有していたのですが

これが現実的問題として迫ってくるかどうか？が焦点となります。

それがジャクソンホール会合の内容とどう関連するのかというと、可能性は低いですが日銀総裁自身がこのマイナス金利継続中の状況下で

『YCC修正』『実質的な利上げ容認』を明確に発するような事が起こると、本格的に日米間の金利差縮小がテーマとなり、株式相場にも大きな影響が出てくる事になるでしょう。
(特に金融・半導体・不動産分野)

また、為替においても金利差の縮小がテーマとなれば、これまで続けてきたドル買い円売りの一方的展開も潮目が変わってくる事になります。

これまでのドル買いが続いている背景は、ドルの金利が円に対して高い状況が続いていたことが主要因だったわけなので

その差が縮小するなら、例えば輸出企業がドルで得た利益を円に戻す動き(レパトリといいます)が進み、円買戻しの流れにも勢いがついてくることが考えられます。

特にこれからの金融環境は、『金利』を理解する事が非常に重要になってきますので、興味を持った人は是非しっかり勉強してみてください。

では、今日はちょっと短めですがこの辺で。